

9月は世界アルツハイマー月間 & 21日オレンジDAY

当院認知症ケア委員会では、9月21日の「世界アルツハイマーデー」に先がけ、19日に天神西鉄コンコース前及び三越前一带で「認知症の人と家族の会」の方々と共に、パンフレットの配布など広く認知症への理解を求める宣伝行動を行いました。



1人でも多くの方にこのような活動している団体があることを知って頂けることが、「相談窓口ここにあり!」と広く周知して頂けるのだと確信が持った行動でした。



▲ The 認知症委員会メンバー&「認知症の人と家族の会」の内田代表

「認知症の人と家族の会」のご紹介

「認知症の人と家族の会」は認知症の人と介護する家族が励まし合い、助け合うと共に社会に働きかけて認知症になっても安心して暮らせる社会を目指して活動をしています。

毎月開催している「つどい」は、辛い思いをしているのは、自分だけではないこと、自分よりもっと大変な家族が居ることを知り、お互いが介護への勇気を持ち合うことのできる大切な“場”となっています。

福岡県支部では、この他に、「若年期認知症介護家族のつどい」「男性介護者のつどい」「介護職のつどい」を年に数回開催しており、どなたでも参加いただけます。その他、会報「たんぼぼ」の発行や、新しい医療や介護の取り組みを学ぶ講演会・研修会も催しています。

●ご入会について

介護をしている家族の方、介護や医療の仕事をしている方、支援したいと思っている方など、どなたでも入会できます。下記事務局まで直接連絡いただくか、当院認知症委員会(担当:大森 / 092-691-5791)までご連絡ください。(年会費:5,000円)

公益社団法人 認知症の人と家族の会 福岡県支部【事務局】

〒810-0062 福岡市中央区荒戸3-3-39
福岡市市民福祉プラザ4F 団体連絡室
TEL・FAX / 092-771-8595
開局日/火・木・金 10時半~15時半(第3火曜日は休み)
ホームページ <http://www.alzheimer.or.jp/>

心理テスト「ぬいぐるみ」

ある日、あなたは夢の中で誰もいない世界を歩いていました。しばらくすると、目の前に小さな女の子がぬいぐるみを抱いて立っています。さて、それは何のぬいぐるみだったでしょう？
右の中から選んでください。



たたらリハビリテーション病院通信

みんなそろって タラッタ たたら

vol. 25
2013年11月号

地域みなさまに支えられ、 2013年10月、病院開設10周年を迎えました。

たたらリハビリテーション病院は、2003年10月に213床のベッド数で開設しました。回復期病棟、医療療養病棟、緩和ケア病棟を設置しています。

病院周辺の風景もマンションが立ち並ぶなど、10年前とはすっかり変化し、年月の経過が伺えます。

職員総数は開設時の170名から現在は260名に増加し、なかでもリハビリ療法士は24名から62名へと2.6倍になっています。

医療活動では、質の高いリハビリテーションの提供を目指し、通所リハビリ、訪問リハビリ、回復期リハビリ、生活リハビリ、緩和ケアにおけるリハビリに取り組んでまいりました。ここ数年は認知症のケアに力を入れています。これらの医療介護活動を、地域みなさんとともにこれからも進めてまいります。

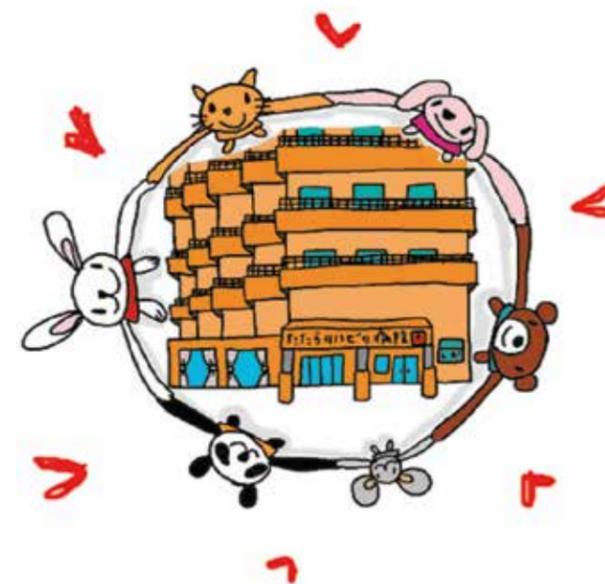


▲2003年開設当時の空撮写真

2008年度からは、職員が1年間の活動の成果を発表するTQM大会を毎年開催し、病院の医療の質の向上をめざしています。また、職員による病院周辺の早朝清掃と敷地内の美化活動も実施しています。

毎月の地域での班会や健康講座、あおぞら健診など、友の会の役員、会員さんと一緒に地域の健康づくりも積極的にすすめてきました。毎年秋に開催している「いきいきふれあい健康まつり」は昨年で第8回目を迎えました。今年は法人50周年、病院10周年企画として、9月29日(日)に大運動会「タタリンピック」を開催し、職員、友の会、地域の中学生など多数の参加で、大盛況でした。

医療保険制度、介護保険制度など、社会保障制度はますます厳しくなるなか、私たちは地域の方たちが安心して住み続けられるまちづくりを目指して、無差別平等の医療、安全安心の医療を提供するために、職員一同、奮闘していく決意です。



発行元/たたらリハビリテーション病院広報委員会
〒813-0031 福岡市東区八田1-4-66 TEL 092-691-5508 FAX 092-691-5634
e-mail: info@tatarareha.jp
<http://www.tatarareha.jp>

ホームページをリニューアルしました!
たたらリハビリ 検索



たたらリハビリテーション病院は、日本医療機能評価機構認定病院です。

第1回 **タタリンピック** 9月29日(日)
於 アクション福岡 参加者数370名



写真提供: ちどり写真クラブ



オープニングを飾っていたいた
多々良中央中学校・吹奏楽部の皆さん

10時に友の会役員と職員の選手宣誓で開会したタタリンピック。参加者は職員・家族をはじめ、友の会会員や多々良中央中学校の生徒さんなど老若男女370名。全員を3チーム(赤・青・黄)に分けて、大縄跳びや大綱引き、親子リレーやパン食い・野菜詰め競争、玉入れなど、幅広い年代で楽しめるプログラム内容でした。圧巻は「なでしこ椅子取り合戦」。日頃の力関係と根性の度合い(?)が現れた結果となりました。最終種目のチーム対抗リレーでは、声を枯らしての大声援、会場全体がひとつになってのフィナーレでした。日常の忙しさや疲れも忘れて、家族と一緒に競技と応援に熱中、チーム別に応援団も急遽結成されるなど、最後まで大いに盛り上がった1日となりました。



当日は小雨模様となりましたが、全天候型の屋内競技場であったので、天候の心配をすることなく安心して開催することができました。参加されたみなさん、大変お疲れ様でした。そして、ご協力いただきました関係者の皆様に感謝申し上げます。



タタリンピックを終えて…



タタリンピック実行委員会 事務局長
介護福祉士 勝野倫考

たたらリハビリテーション病院に入職し、今年で8年目になります。今年1月、今までに前例のない面白い取り組みをしてみたいと考え、事務長に「運動会開催」の企画書を提出し、その日からタタリンピック開催への取り組みがスタートしました。「運動会」は職員の健康増進を高めるだけでなく、組織の仲間としてチームワーク・連携の強化等を考慮すると、団結力を高めるには最適な企画であると言われています。

当院は10周年を迎え、今後も更なる飛躍が求められています。そのためにも職員同士、友の会、地域と密に連携をとり、向き合っていくこともまた大切です。そして、実行委員会を立ち上げて約10ヶ月間、本番当日は事故もなく楽しいタタリンピックを行うことができました。

それも一重に実行委員と運営スタッフ、参加していただいたみなさんのご協力のおかげです。「病院が運動会をする。」確かに型破りな企画ではありましたが、370名もの方々と取り組めたこの企画をうれしく思います。ありがとうございました。

幸せの黄色い
ハンカチチーム
の優勝!



チームリーダー
有吉絃一(リハセンター)

③の「イヌ」を選んだ方
「イヌは「従順」や「献身」の象徴で、あなたは、誰かがあなたに従ってくたたり、誰かに尽くしているときに喜びを感じることができます。」



②の「クマ」を選んだ方
「クマは母親など「あなたを守ってくれるモノ」の象徴で、あなたは、誰かに守られているときにリラックスできるよさを感じることができます。」



①の「ウサギ」を選んだ方
「ウサギは「弱いモノ」や「受け身の象徴で、あなたは、スラからかかってくる世話をより世話する方が好きなよさを感じることができます。」

